

祝 表彰受賞おめでとうございます



総務大臣表彰

高柳 澄江さん
(扇町二丁目)

平成4年より、長年にわたり各種統計調査に従事する中で、特に平成30年住宅土地統計調査に指導員として従事し、その成績が優秀であったと認められ、受賞されました。



栃木県統計協会 名誉会長表彰

細川 カツ子さん
(平野)

平成22年より、各種統計調査に積極的に協力し、調査員として従事された功績が認められ、受賞されました。

12/8 (日) 地域の芸術振興に感謝

矢板小学校体育館で、塩谷地区芸術祭70周年記念式典が行われ、塩谷地区の芸術振興に功労・功績のあった18の方が表彰されました。続いて行われた講演会では、タレント兼画家のジミー大西さんが登壇し、アーティストトーク「お笑い・絵画とわが人生」と題して講演されました。

ジミーさんは「成功するためには『運・出会い・技術』が必要」と話し、明石家さんまさんの運転手時代の裏話や絵画を学ぶために20カ国以上渡航した際の体験談などを披露し、会場は終始笑いに包まれていました。



12/13 (金) 税の公平性って？

全国7,464校から約58万編の応募があった、「中学生の『税についての作文』」コンクールで、国税庁長官賞を受賞した矢板中の石川さん、関東信越国税局長賞を受賞した片岡中の小野さんが市役所を訪れ、市長に受賞報告を行いました。

石川さんは「伯父との会話をきっかけに、税の公平性について考えたことを書いた。私もきちんと税金を納めて、社会の助け合いに参加できる大人になりたい」と頼もしい感想を話してくれました。



※「税についての作文」は、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が共催で行っている作文コンクールです。

※永年にわたる租税教育の推進に対し、矢板中学校に氏家税務署長から感謝状が贈られました。

- ▲(右から)
- ・小川校長(矢板中)
- ・石川 結衣さん(矢板中1年)
- ・齋藤市長
- ・小野 琴未さん(片岡中1年)
- ・小川校長(片岡中)

1/9 (木) 県農業士・名誉農業士認定

県農業士に認定された渡邊 貴宣さん(安沢)と名誉農業士に認定された柳田 実さん(木幡)のご夫妻が市役所を訪れ、市長に認定の報告を行いました。

渡邊さんは、認定農業者として積極的に経営規模の拡大に取り組むとともに、エコファーマーの認定を受けるなど、地域農業の活性化に尽力されていることが認められました。柳田さんは、平成18年度に県農業士に認定された後、14年もの長きに渡り、地域農業の振興・発展に活躍されました。



- ▲(左から)
- ・柳田さんご夫妻
- ・齋藤市長
- ・渡邊さんご夫妻

祝 新成人おめでとうございます！

1月12日(日)、矢板イースタンホテルで、令和を迎えて初めての成人式が行われ、華やかな振袖や真新しいスーツに身を包んだ247人の新成人が出席し、新たな門出を祝いました。今回の成人式も成人式実行委員9人が中心となり行われた式典で、成人の主張として4人が壇上で自分の思いや家族への感謝の気持ちを述べたほか、新成人を代表して吉沢 勇輝さんが誓いのことばを述べ、成人として新たな一歩を踏み出しました。

会場では、友人との久しぶりの再会を喜び、記念撮影や近況を語り合う姿が多く見られました。



1/11 (土) 遊びを通して伝統を学ぶ

矢板武記念館と郷土資料館で正月遊び体験が行われ、165人が参加しました。このイベントは、普段できない昔ながらの遊びを子どもたちに体験してもらい、日本ならではの伝統文化に触れてもらうことを目的に毎年行われており、会場はたこあげや福笑いなどを楽しむ親子連れでにぎわいを見せました。

またこの日、郷土資料館の入館者が3万人を達成し、記念すべき入館者となったさくら市在住の岡 桜輝くん、誠さん親子に記念品と賞状が贈られました。



1/13 (祝・月) 氷に刻まれた過去の記録

泉公民館で、第59次日本南極地域観測隊に参加した南極先生・佐藤 啓之氏を講師に迎え、「第17回泉地区むらづくり新春講演会」が行われました。「南極を知ることは地球の未来を知ること」と題し、地球上で最も厳しい環境といわれる南極で、越冬隊員として経験した苦労話や南極ならではの体験談など、ユーモアを交えて話されました。

参加した小学生たちは「パチパチと南極の氷から大昔の空気がはじける音が聞こえた。いろんな南極の話を知ることができて楽しかった」と感想を話してくれました。



▲佐藤氏は、(株)ミサワホーム総合研究所から観測隊に建築の専門家として参加し、他の研究者や観測船の乗組員などと協力しながら、昭和基地で新しい建物の建設に携わりました。